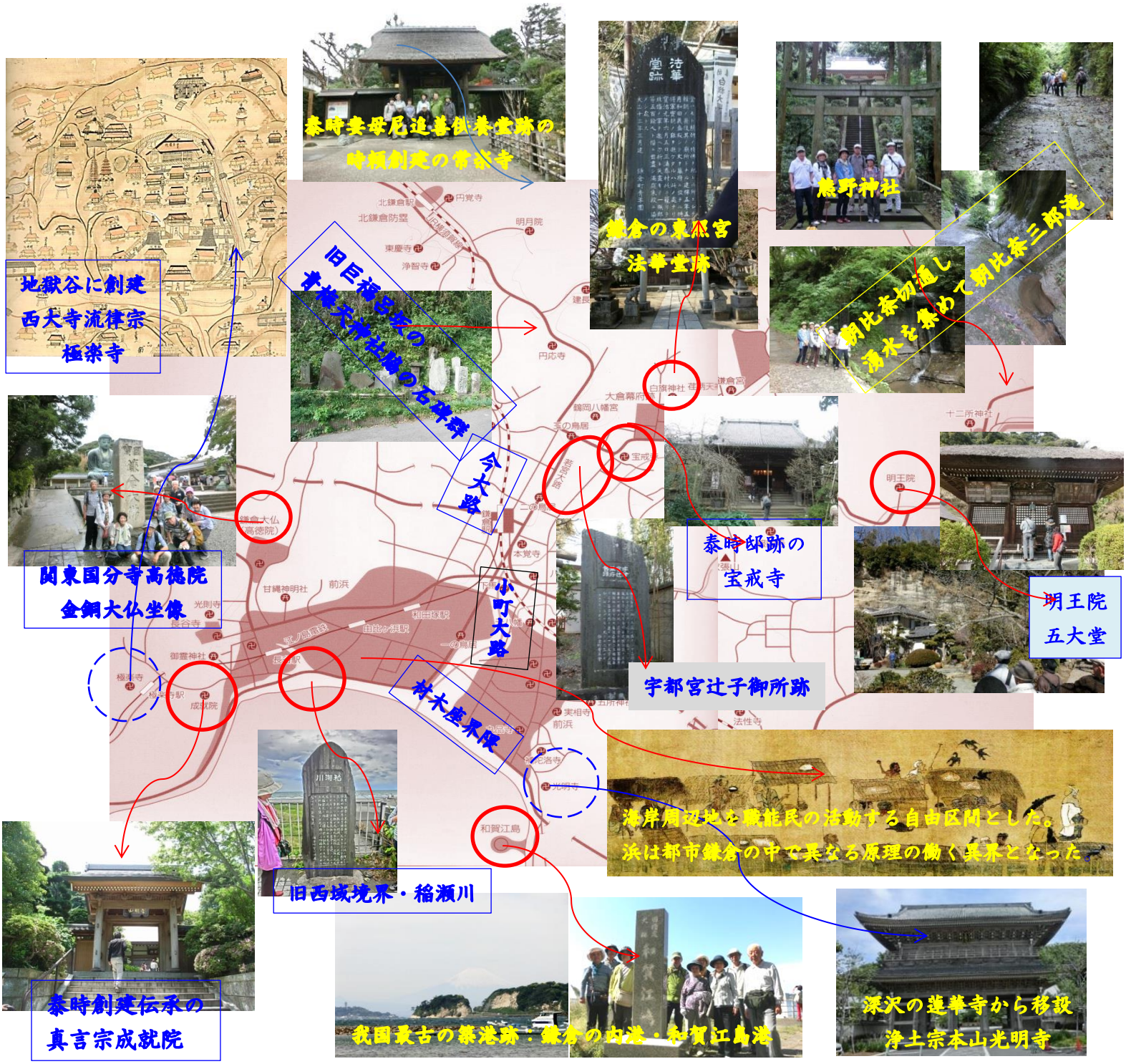
鎌倉史跡巡り　10月号　小町大路を歩く：北条泰時の都市改造

◎承久の乱で勝利し六波羅探題を勤めた執権泰時の「武士の都：鎌倉改造の経過」の一部を辿る。

西暦	内　　容	備　　考
1219	実朝刺殺される。九条頼経（三虎）関東へ下向。1221年承久の乱	明恵の生き方を学ぶ
1224	6月泰時執権。1225年時房連署。（叔父甥の名コンビ）	瑯腹探題での都文化学習効果
1224	12月四角四境祭（東・六浦、西・稲村、南・小坪、北・山内）	都市鎌倉の境界拡張（稲瀬川）
1225	12月幕府を宇都宮辻子へ移転。1226年頼経第四代将軍就任	幹線道路：東西から南北へ
1232	7月往阿弥陀の和賀江島港建造を支援。8月貞永式目制定施行	泰時の実質的主導か？
1235	6月五大堂（明王院）造立。　7月念仏禁止	都文化（鎌倉密教）の深耕
1236	泰時、妻母尼追善の堂宇造立（後、時頼建立の常楽寺）	鎌倉＝山内間道路の終点？
1240	巨福呂坂整備。1241年4月鎌倉＝六浦間道路拡張着工	外港六浦港への幹線路改良
1241	3月深沢大仏上棟。42年3月鎌倉中僧徒の帯刀没収し大仏へ施入	八幡神の本地仏の大仏建立
1243	6月泰時周年供養。深沢大仏落成供養。52～64？年金剛大仏に鋳直し	東大寺に並ぶ金銅大仏造立
1248	時頼、常楽寺建立。（蘭渓道隆が建仁寺開山就任前に一時住持）	北条得宗供養禅寺の巨福呂坂